

「西田先生は花粉症にはなりませんか？」

平成31年3月6日

●チーム西田さんからの質問

先生は花粉症になりませんか？私は毎年ひどい花粉症に苦しんでいます。

●西田昌司の答え

私も、何十年も前から花粉症に苦しんでいますし、2月の終わり頃からくしゃみや鼻水が止まらなくなります。医者に行って点鼻薬をもらって一日一回さしたりしていましたが、今年はそのようなことにはなっていないな、とはたと気付きました。では花粉症が治ってしまったのかといえば、実はそうではないようです。

昨年の今頃、頬の辺りが赤く腫れたので皮膚科の医者に診てもらいましたが、肌が乾燥しているので湿疹が出るのだと言われました。歳をとるごとにだんだんと肌が乾燥して荒れてきますが、そこを掻いたりするとただれることになるようです。ですから肌が乾燥しないように保湿剤を塗る処方がされたりします。

ところが、一旦、顔に湿疹が出始めると、顔だけでなく体中に湿疹が出てきて痒みを伴いますし、保湿剤だけでは痒みが収まりませんので、抗ヒスタミン剤を処方してもらって飲んでいきます。抗ヒスタミン剤はアレルギーを抑える効果がありますが、それで花粉症の症状が抑えられているのでは、と最近になって気付きました。

花粉症を抑えるためには老人性の乾燥肌になれば良い、というのは冗談ですが、抗ヒスタミン剤のお陰か鼻の方は大したことなくありません（多少

鼻が詰まっています(以前からこの程度は詰まっています)。目の方はこの頃しょぼしょぼとしてきましたが、それでも昔ほどはひどくありません。どうか参考にしてください。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>